

お知らせ

記者発表資料

平成30年5月21日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ 鳥取県政記者会 島根県政記者会 岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ 山口県政記者会 山口県政記者クラブ
山口県政滝町記者クラブ 中国地方建設記者クラブ

三次町歴史的街並み景観形成地区が 都市景観大賞『優秀賞』を受賞！！



- 受賞地区 三次町歴史的街並み景観形成地区(広島県三次市)
- 受賞部門 都市景観大賞『都市空間部門』
- 受賞者 三次町歴みち協議会
三次地区自治会連合会
三次市

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) (平日・昼間)

【担当】建政部 計画・建設産業課長 佐々木高志 (内線 6121)
建政部 計画・建設産業課長補佐 大谷 信英 (内線 6123)

【広報担当窓口】広報広聴対策官 岩下 恭久 (内線 2117)
企画部 環境調整官 井上 和久 (内線 3114)

平成30年度 都市景観大賞

1. 都市景観大賞とは

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対して表彰し、更なる取組みの契機としていただくとともに、全国に広く紹介し良好な景観の形成が進んでいくことを目的としています。

2. 都市景観大賞の表彰部門について

現在、都市景観大賞では以下の2部門により募集・審査が実施されています。

- 公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象にした『**都市空間部門**』
- 景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象にした『**景観まちづくり活動・教育部門**』

「**三次町歴史的街並み景観形成地区**」は『**都市空間部門**』における受賞となります。

※ 受賞地区の概要等は別紙「三次町歴史的街並み景観形成地区」をご参照ください。

3. 参考資料

- 別紙1 平成30年度 受賞地区一覧（全国分）
- 別紙2 中国地方における過去の受賞履歴
- 参考 平成30年度 都市景観大賞募集内容

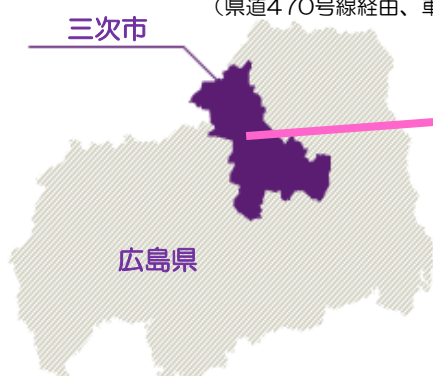
■ 表彰地区の位置

○地区の範囲

広島県三次市三次町
三次本通り（南端）～上市・太才通り（北端）までのエリア

○アクセス

- ・JR尾関山駅より東へ約0.6km、JR三次駅より北西へ約1.2km
（徒歩約7分）（徒歩約15分）
- ・三次ICより北西約3.6km
（県道470号線経由、車で約9分）



出典：三次市HPより（一部編集して作成）

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

三次町歴史的街並み景観形成地区

所在地	広島県三次市
地区面積	約 9.2 ha
応募者	三次町歴みち協議会、三次地区自治会連合会、三次市

地区の概要

当地区は三次市の中心市街地にある三次町に位置する。地区の大半は、三次本通り商店街を中心にして、沿道の商店及び隣接の住宅からなる。

江戸時代に三次藩の城下町として栄えた当地区は、三次藩が廃絶した後も町家筋を中心に在郷町として発展、明治・大正・昭和にかけて「県北の商都」と呼ばれるまでとなり、現在でも「卯建」のある町家や寺社、洋館、酒蔵など歴史を感じさせる建造物が多く残っているが、昭和40年代後半から市の中心機能の移転などにより町のにぎわいが急速に失われていった。

しかしながら、市の街路事業等を契機に、三次町歴みち協議会が設立されて以降、市と地域住民との協働による景観形成が進められ、少しずつではあるが、往時のにぎわいを取り戻しつつある。

三次町は周囲を山と3つの大河川で囲まれた自然環境に恵まれた地区でもあり、妖怪物語「稲生物怪録」や三次人形、人形作家の辻村寿三郎氏など魅力ある文化も豊富である。

平成31年春には、三次地区拠点施設（妖怪博物館等）の開館も控えており、さらなる町の魅力発信の取組が必要となっている。



写真左下側から右中側に向けてのまちなみが当地区。右奥の山が比熊山。通りに沿って整然と商店・住家が立ち並ぶ。



「卯建（うだつ）のにおう町」。石畳と建物との対比が美しい。本卯建のある町はめずらしく、通りの奥には新緑の映える山並みが見える。

審査講評

古くは中世、三吉氏が居城を構えたことに始まり、江戸時代には三次藩として現在の原型となる街並みが整ったとされる山懐に抱かれた歴史と文化が薫る街である。応募対象地区はかつての政治・経済・文化の要衝となる上市・太才通り及び三次本通りを中心とした道と街並みである。商業機能を中心に栄えてきた街は度重なる河川の氾濫と昭和のモータリゼーションの余波を受け衰退の一途を辿ってきた。空洞化が止まらない街を憂い、意識の高い地域住民と行政が一体となって取り組みを始めたのが20数年前である。市の街路事業により石畳、小路、無電柱化、街路灯などが整備され、並行して住民による歴みち協議会が結成され、歴史的建物の修景化や町家、酒蔵の利活用としてチャレンジショップ事業など官民一体となった道づくり、街づくりが進められてきた。他方、浅野藩ゆかりの阿久利姫、長い歴史をもつ三次人形、もののけ伝説に纏わる多彩なイベントなど活発な活動も街の賑わい創出に大きく貢献している。三次は霧の街でもあるそうだ。盆地と三川合流が織りなす自然景観と響き合う街並景観形成への取り組みは高く評価することができる。（富田）



GW中、れとりーとふえすていばる風景。数多くの人々で賑わう。



通りの夜景。住民生活にも配慮した街路灯の控えめな灯りが幻想的に通りを演出している。

受賞地区一覧

大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
おながわえきまえ 女川駅前レンガみち周辺地区 (宮城県女川町)	約 6.6 ha	<ul style="list-style-type: none">・宮城県女川町・女川町復興まちづくりデザイン会議・独立行政法人 都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部・おながわまちづくり JV (鹿島・オオバ女川町震災復興事業共同企業体)・東環境・建築研究所 + 株式会社プラットデザイン・女川駅前商業エリア景観形成推進協定運営委員会・おながわレンガみち交流連携協議会

特別賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
板橋区加賀地区 (東京都板橋区)	約 48.2 ha	<ul style="list-style-type: none">・加賀まちづくり協議会

優秀賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
赤坂一丁目地区 (赤坂インターシティ AIR) (東京都港区)	約 2.5 ha	<ul style="list-style-type: none">・赤坂一丁目地区市街地再開発組合・新日鉄興和不動産株式会社・株式会社日本設計
横浜市グランモール公園地区 (神奈川県横浜市)	約 2.3 ha	<ul style="list-style-type: none">・横浜市環境創造局・株式会社三菱地所設計
みよしちょう 三次町歴史的街並み景観形成地区 (広島県三次市)	約 9.2 ha	<ul style="list-style-type: none">・三次町歴みち協議会・三次地区自治会連合会・三次市

受賞活動一覧

大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動範囲	応募者
沖縄県景観モデル地区の小学校における風景学習の試み	沖縄県	・特定非営利活動法人 沖縄の風景を愛 ^{かな} する会 ・沖縄県

優秀賞「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動範囲	応募者
さわら 佐原おかみさん会活動	千葉県 香取市	・さわら 佐原おかみさん会
みやづ たけ 宮津・竹の学校	京都府 宮津市	・特定非営利活動法人 地球デザインスクール
民・学・官が一体となった歴史ある 住宅地「深堀 ^{ふかほり} 地区」の景観まちづくり	長崎県 長崎市	・深堀地区まちづくり推進協議会 ・長崎大学工学部安武 ^{やすたけ} 研究室 ・長崎大学環境科学部渡辺研究室 ・九州大学持続可能な社会のための決断科学センター ・長崎市

都市景観大賞 中国地方における過去の受賞履歴

(平成13年度以降)

「美しいまちなみ賞」(平成13年度～平成22年度)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成13年度	優秀賞	福山市 福山久松通り地区	・福山久松通商店街振興組合 ・広島県福山市 ・福山商工会議所
平成17年度	大賞	倉吉市 打吹地区	・打吹地区歩行ネットワークを考える会 ・鳥取県倉吉市
平成18年度	優秀賞	津和野町 環境保全地区	・津和野町まちづくり検討委員会 ・島根県津和野町
平成19年度	優秀賞	宇部市 中央町三丁目地区	・宇部中央地区再開発推進協議会 ・山口県宇部市
平成20年度	優秀賞	鳥取市 夢街道・鹿野往来城下町地区	・特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 ・鳥取県鳥取市
平成21年度	大賞	真庭市 勝山町並み保存地区	・かつやま町並み保存事業を応援する会 ・岡山県真庭市
平成22年度	大賞	倉敷市 倉敷美観地区	・倉敷伝建地区をまもり育てる会 ・特定非営利活動法人倉敷町家トラスト ・岡山県倉敷市

「都市空間部門」(平成23年度以降～)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成23年度	優秀賞	江津市域地区	・島根県江津市
	優秀賞	浜崎地区	・浜崎しつちよる会 ・山口県萩市
平成24年度	大賞	吹屋地区	・吹屋町並保存会 ・岡山県高梁市
平成25年度	大賞	城下町長府地区	・城下町長府景観協議会 ・下関市
平成27年度	優秀賞	神門通り地区	・島根県 ・出雲市 ・神門通り甕りの会

「景観教育・普及啓発部門」(平成23年度以降～)

年 度	表彰内容	活 動 名	応 募 者
平成25年度	大賞	関門地区(北九州・下関市) 景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会(下関市・北九州市)

平成30年度は、下記の通り、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集します。

■ 都市景観大賞とは

都市の景観は国民共有の誇りうる財産として、美しく風格のあるものであり、また、地域固有の歴史や風土が尊重され、そこで生活し活動する人々にとって、親しみと敬意の対象とならなければなりません。都市景観の日実行委員会は、良好な都市景観を育むため、互いに協力しあい、工夫をこらした意欲的な実践に、ともに取り組むことを広く呼びかけ、その一環として平成3年より都市景観大賞を実施しています。

平成27年度に景観法10周年記念として実施した「景観づくり活動部門」と「景観教育・普及啓発部門」を統合し、平成28年度から、「景観まちづくり活動・教育部門」として募集しています。

I 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定・顕彰し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞）…………… 1地区
- ② 優秀賞…………… 数地区
- ③ 特別賞…………… 内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。
※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

（順不同、敬称略、平成29年10月現在）

委員長	陣内 秀信	法政大学教授
委員	池邊 このみ	千葉大学大学院教授
	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	岸井 隆幸	日本大学教授
	佐々木 葉	早稲田大学教授
	高見 公雄	法政大学教授
	田中 一雄	株式会社GKデザイン機構代表取締役
	富田 泰行	トヨタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局市街地整備課長
	国土交通省	住宅局市街地建築課長

II 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞）…………… 1活動
- ② 優秀賞…………… 数活動
- ③ 特別賞…………… 内容に応じ、適宜選定

3. 募集対象

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

（順不同、敬称略、平成29年10月現在）

委員長	小澤 紀美子	東京学芸大学名誉教授
委員	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	楚良 浄	世田谷区立玉川小学校指導教諭
	福井 恒明	法政大学教授
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長

■ 応募方法 ■

「都市空間部門」あるいは「景観まちづくり活動・教育部門」に応募したい方は、それぞれの「応募要領」に従って、指定の応募図書を作成し、平成29年12月25日（月）までに（消印有効）、下記提出先までご送付ください。なお、応募にはエントリー（12月14日（木）まで）が必須です。「エントリーシート」「応募要領」（応募図書の様式を含む）は、下記のホームページよりダウンロードしてご利用ください。

URL : <http://www.udc.or.jp> の都市景観大賞のページ

■ 応募図書提出先・お問い合わせ先 ■

「都市景観の日」実行委員会事務局 都市景観大賞担当 護・南
〒112-0013 東京都文京区音羽二丁目2番2号 アベニュー音羽2階 公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター内
TEL : 03-6912-0799 FAX : 03-6912-0930 E-mail : info@udc.or.jp URL : <http://www.udc.or.jp/>